

令和6年度利用者アンケートの結果

(1) アンケートの概要

実施目的

応援券の利用状況、応援券事業に対する要望等を把握し、今後の事業計画の検討に活用することを目的に、子育て応援券交付対象者等に対してアンケートを実施した。

実施内容

○アンケート実施方法：

応援券アプリのユーザ登録を行った者（9,889人）にプッシュ通知でアンケートを配布した。また、回答を広く募るため、子ども・子育てプラザでのチラシの掲示や、区公式 SNS での周知を行ったほか、応援券事業者にアンケート周知チラシデータの提供を通じて、利用者への回答依頼を行った。

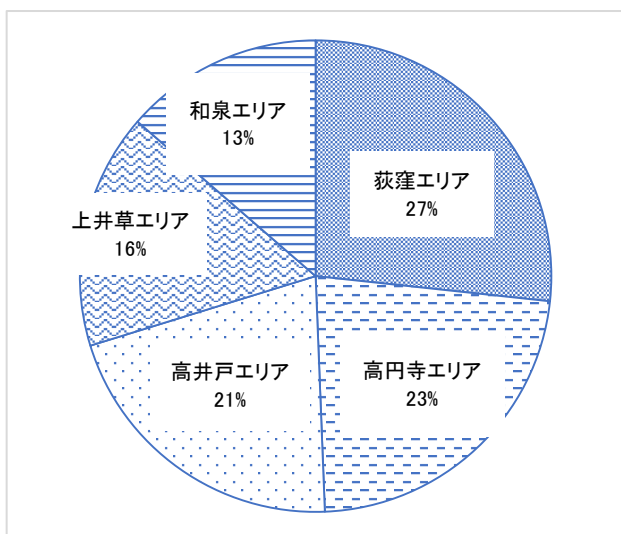
○回答方法：インターネット回答（LoGo フォーム）

○実施期間：令和6年7月12日（金）から令和7年3月31日（月）まで

○回答状況：719人

(2) 回答者の属性について

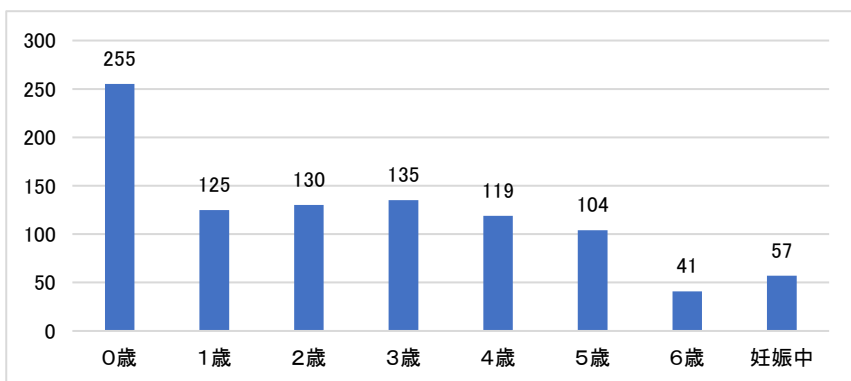
居住地域



荻窪エリア： 西荻北、上荻、清水、本天沼、天沼、成田東、成田西、荻窪、南荻窪、西荻南
高円寺エリア： 阿佐谷北、阿佐谷南、高円寺北、高円寺南、和田、梅里、松ノ木
高井戸エリア： 松庵、宮前、久我山、高井戸西、上高井戸、永福、浜田山、下高井戸、高井戸東
上井草エリア： 井草、上井草、下井草、善福寺、今川、桃井
和泉エリア： 堀ノ内、大宮、和泉、方南

（N=719、単回答）※Nは回答者数を示す。以下同じ。

未就学児の年齢

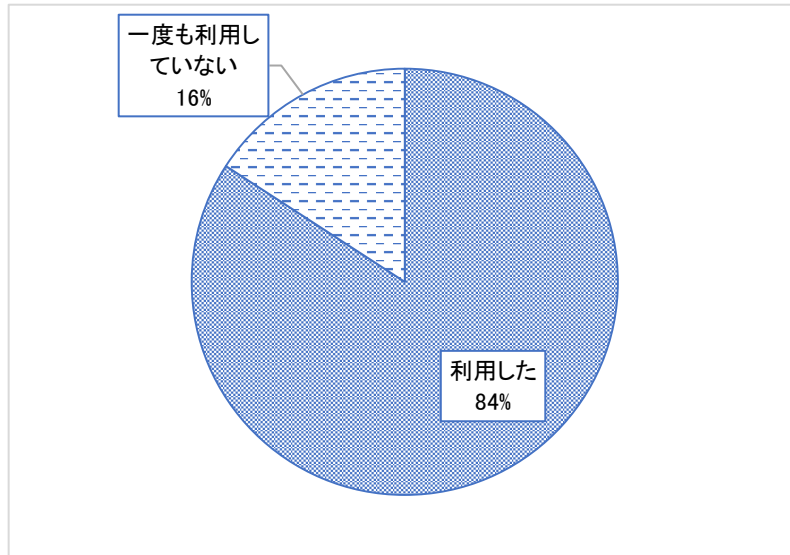


（N=719、複数回答）

(3) 杉並子育て応援券の利用状況と評価について

杉並子育て応援券の利用状況

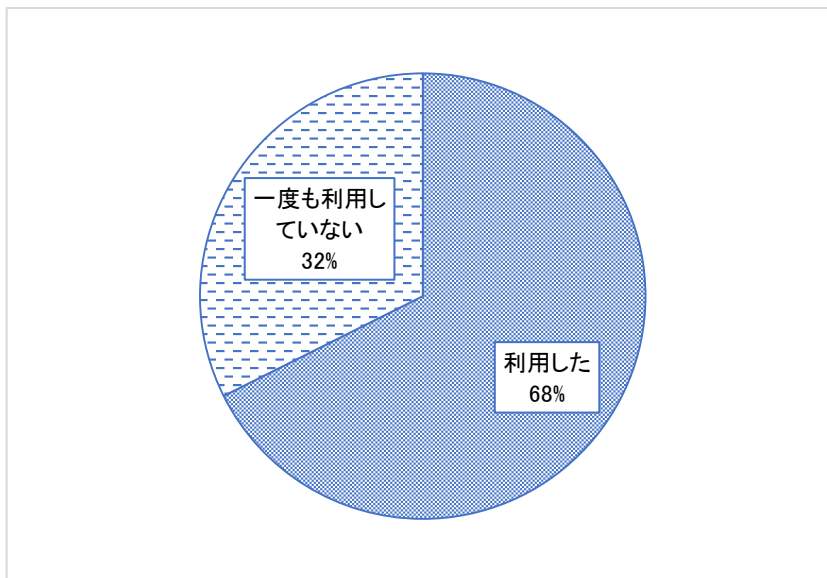
ここ1年以内に応援券を利用したか聞いたところ、「利用した」(84%)が約9割となっている。一方、「一度も利用していない」(16%)が約1割となっている。



(N=719、単回答)

アプリ版応援券の利用状況

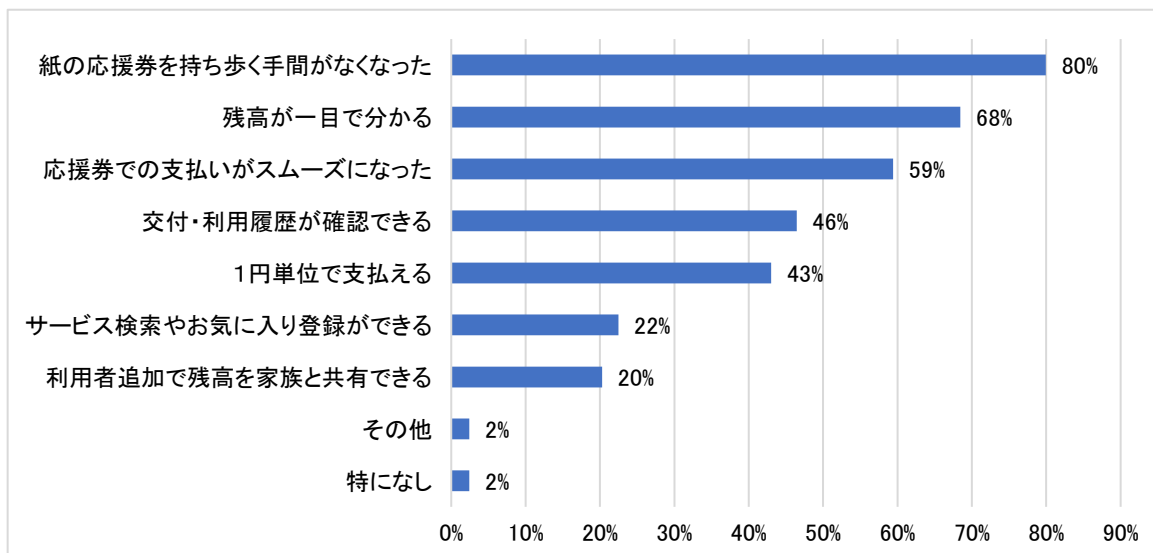
1年以内に応援券を利用した人(N=605)に、アプリ版子育て応援券を利用したか聞いたところ、「利用した」(68%)が6割を超えている。一方、「一度も利用していない」が約3割となっている。



(N=605、単回答)

アプリ版子育て応援券を利用したメリット

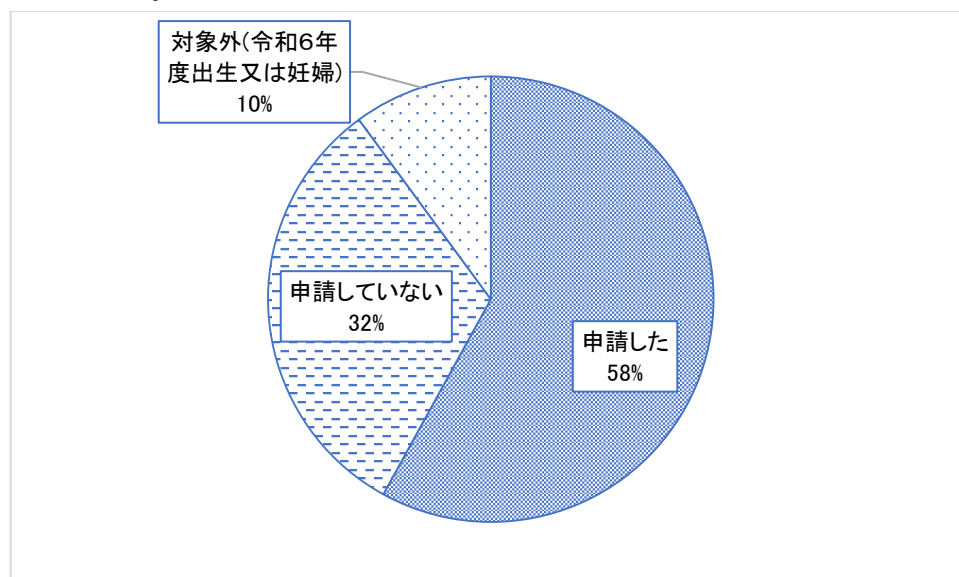
アプリ版応援券を利用した人（N=409）にアプリを利用してどのようなメリットがあったか聞いたところ、「紙の応援券を持ち歩く手間がなくなった」（80％）が最も多くなっている。次いで「残高が一目で分かる」（68％）、「応援券での支払いがスムーズになった」（59％）などの順番になっている。「その他」（2％）では「紛失の心配がない」などがあげられている。



(N=409、複数回答)

電子フォームによる有償応援券の購入申請状況

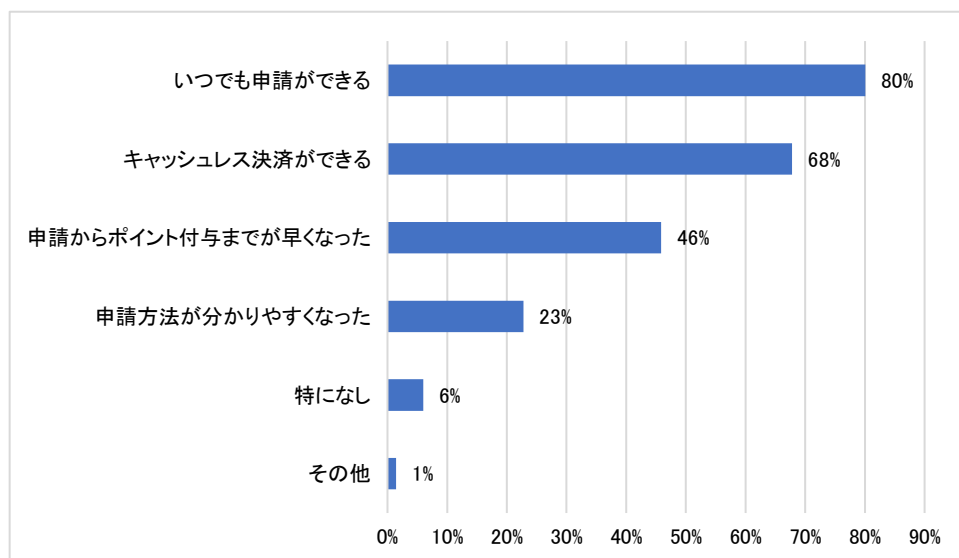
1年以内に応援券を利用した人（N=605）に、電子フォームにて有償応援券の購入申請を行ったか聞いたところ、「申請した」（58％）が約6割となっている。一方、「申請していない」（32％）が約3割となっている。



(N=605、単回答)

電子申請になったことで良かったところ

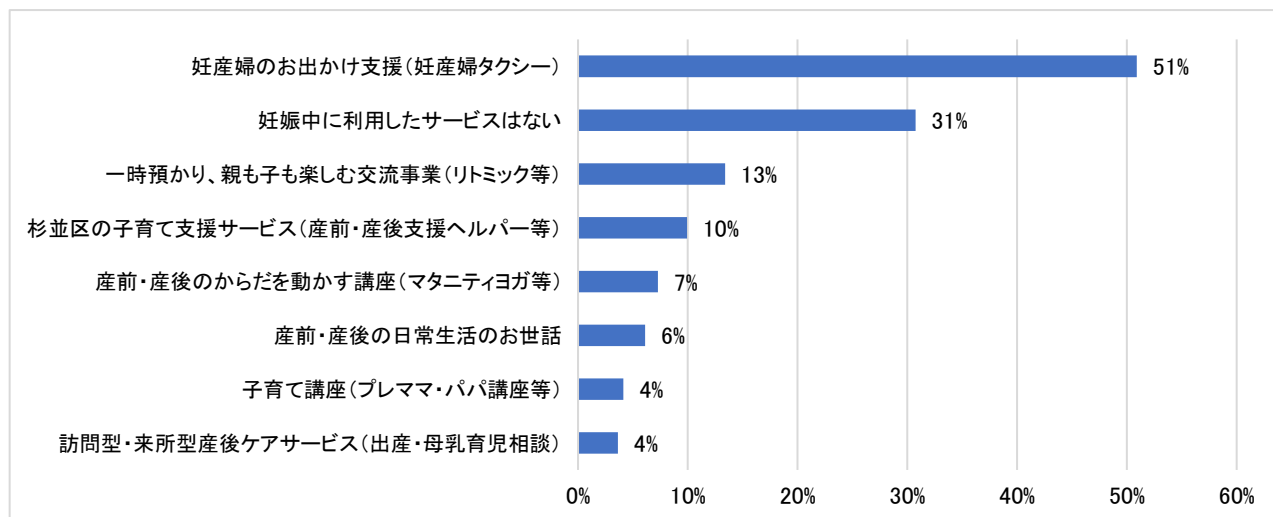
有償応援券の購入申請を行った人（N=351）に、電子申請になり良かったところがあるか聞いたところ、「いつでも申請できる」（80%）が最も多く、次いで「キャッシュレス決済ができる」（68%）、「申請からポイント付与までが早くなった」（46%）などの順番になっている。



（N＝351、複数回答）

妊娠期に何のサービスに応援券を利用していたか

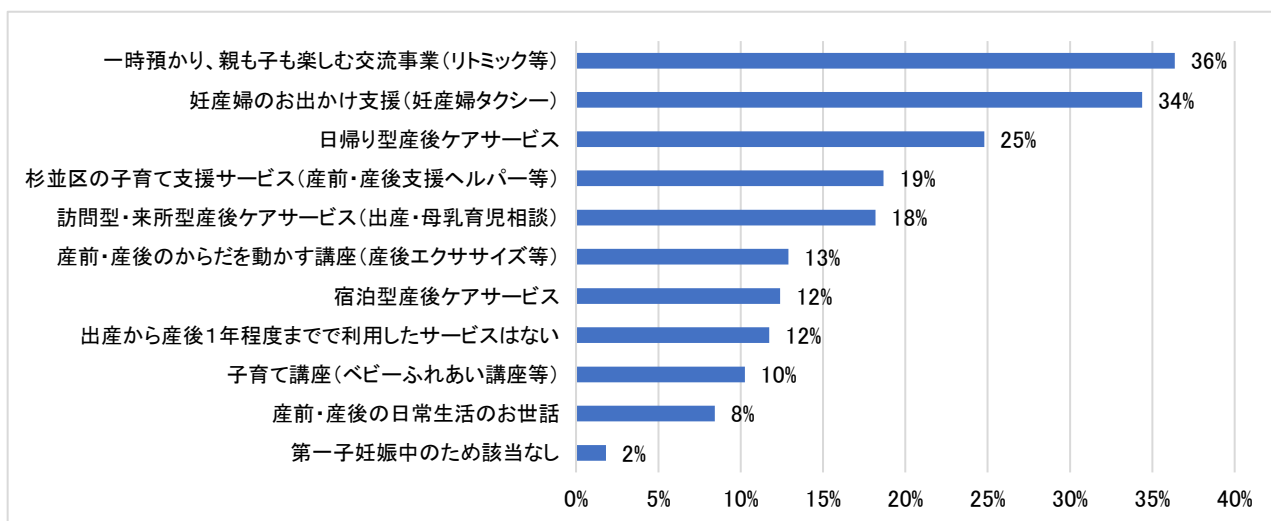
1年以内に応援券を利用した人（N=605）に、妊娠期に利用したサービスを聞いたところ、「妊産婦のお出かけ支援（妊産婦タクシー）」（51%）が5割で最も多く、次いで「妊娠中に利用したサービスはない」（31%）、「一時預かり、親も子も楽しむ交流事業（リトミック等）」（13%）などの順番になっている。



（N＝605、複数回答）

出産から産後1年程度までで何のサービスに応援券を利用していたか

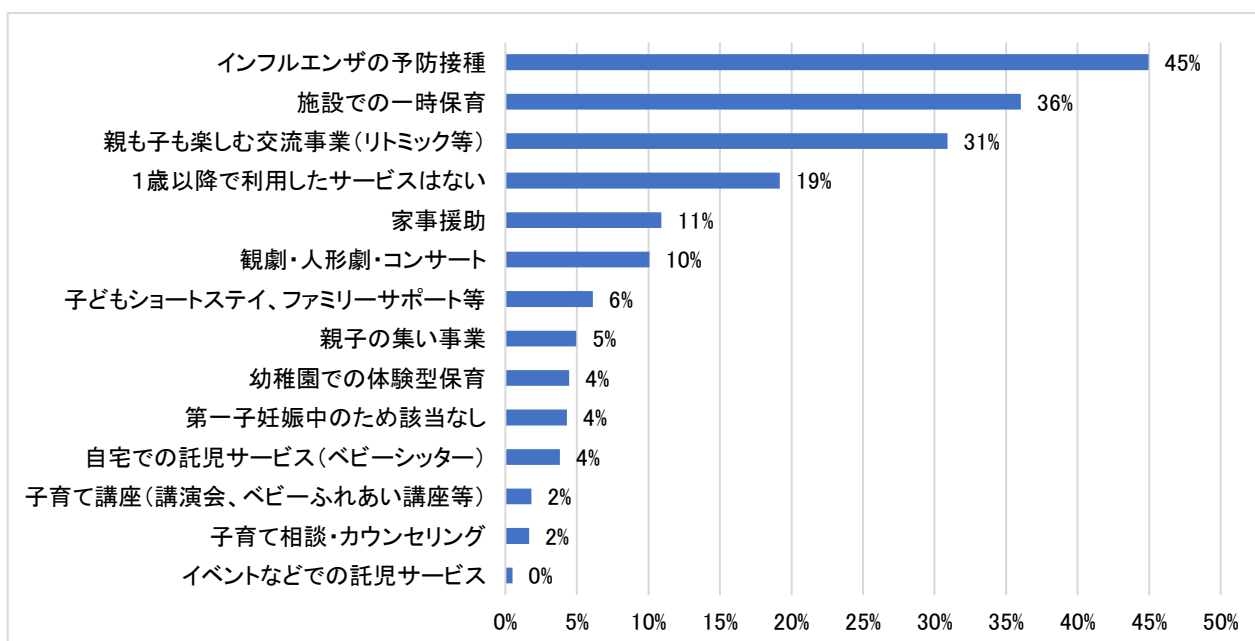
1年以内に応援券を利用した人（N=605）に、出産から産後1年程度までで利用したサービスを聞いたところ、「一時預かり、親も子も楽しむ交流事業（リトミック等）」（36%）が約4割で最も多く、次いで、「妊産婦のお出かけ支援（妊産婦タクシー）」（34%）、「日帰り型産後ケアサービス」（25%）などの順番になっている。



（N=605、複数回答）

子どもが1歳を迎えた以降の家庭で何のサービスに応援券を利用しているのか

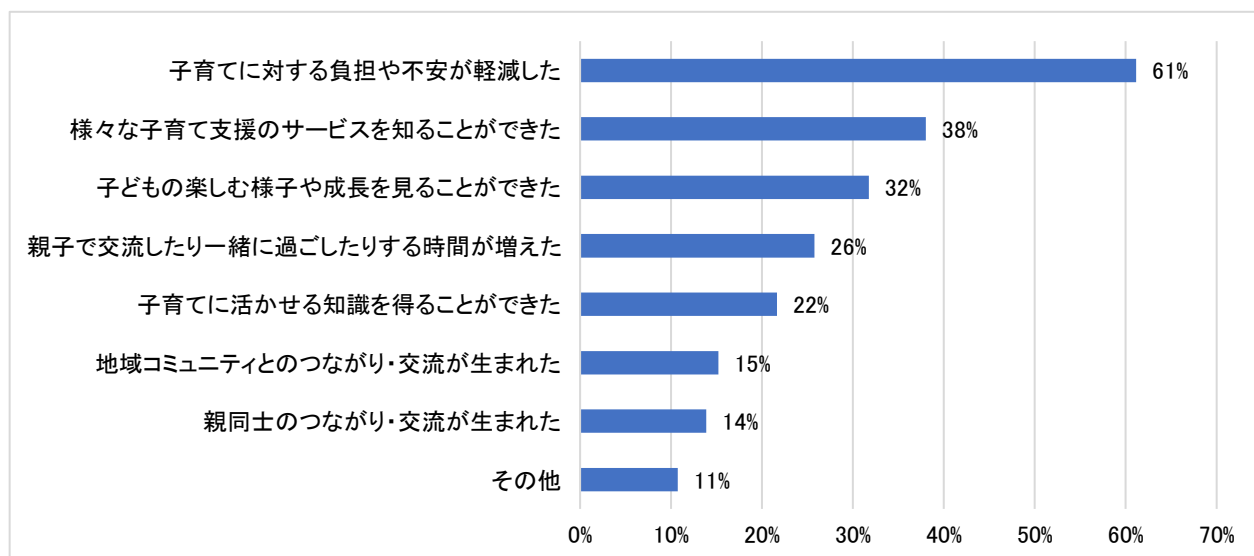
1年以内に応援券を利用した人（N=605）に、お子さんが1歳を迎えた以降で利用したサービスを聞いたところ、「インフルエンザの予防接種」（45%）が4割超で最も多く、次いで「施設での一時保育」（36%）、「親も子も楽しむ交流事業（リトミック等）」（31%）などの順番になっている。



（N=605、複数回答）

子育て応援券を利用したメリット

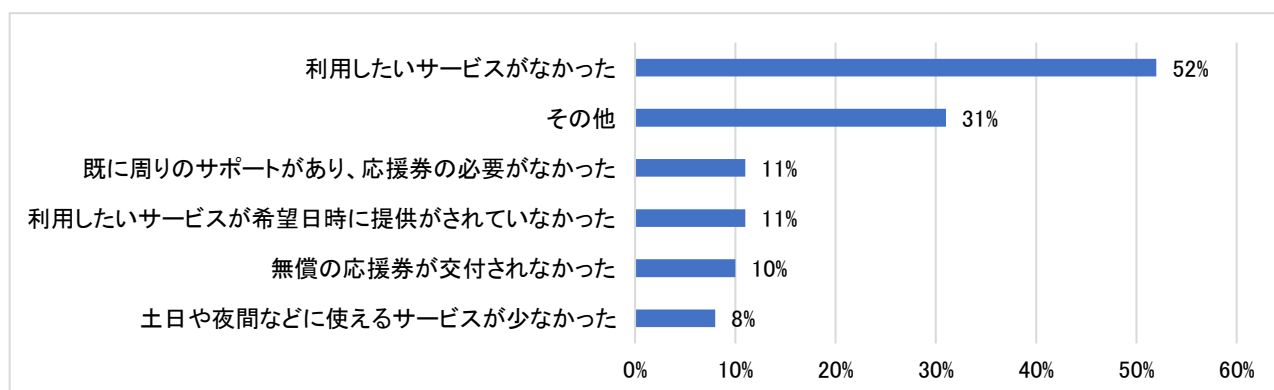
1年以内に応援券を利用した人（N=605）に応援券を利用したことでのどのようなメリットがあったか聞いたところ、「子育てに対する負担や不安が軽減された」（61%）が約6割で最も多く、次いで「様々な子育て支援のサービスを知ることができた」（38%）、「子どもの楽しむ様子や成長を見ることができた」（32%）などの順番になっている。「その他」（11%）では「家族以外の周囲（ヘルパーなど）にも頼っていいという心づもりができた」、「子どもが気に入るか、続けられるかを応援券で試せた」、「インフルエンザ予防接種に利用できた」、「経済的な負担の軽減になった」などがあげられている。



(N=605、複数回答)

子育て応援券を利用しなかった理由

応援券を一度も利用していない人（N=114）に応援券を利用しなかった理由を聞いたところ、「利用したいサービスがなかった」（52%）が5割超で最も多かった。「その他」（31%）では「感染症などがあり、対面サービスを受けたくない」、「転入したばかりでまだ利用できていない」、「利用したかったが調べるのが面倒だった」などがあげられている。

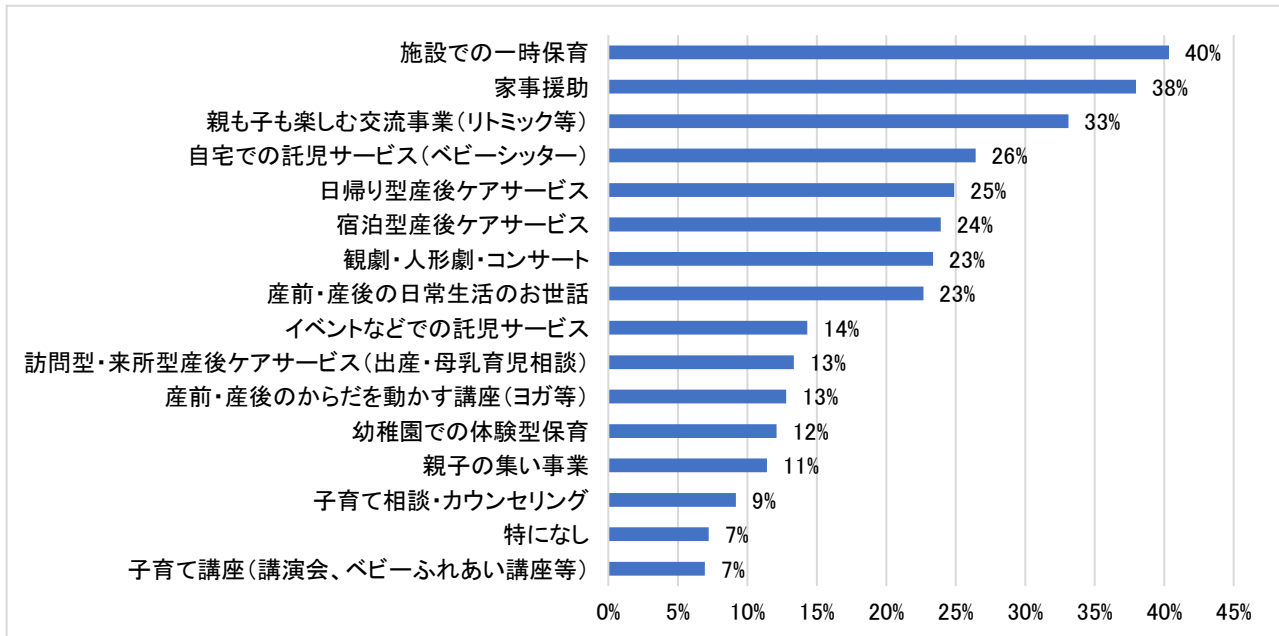


(N=114、複数回答)

(4) 応援券事業で充実してほしいサービスについて

応援券が使えるサービスで、今後さらに充実してほしいと思うもの

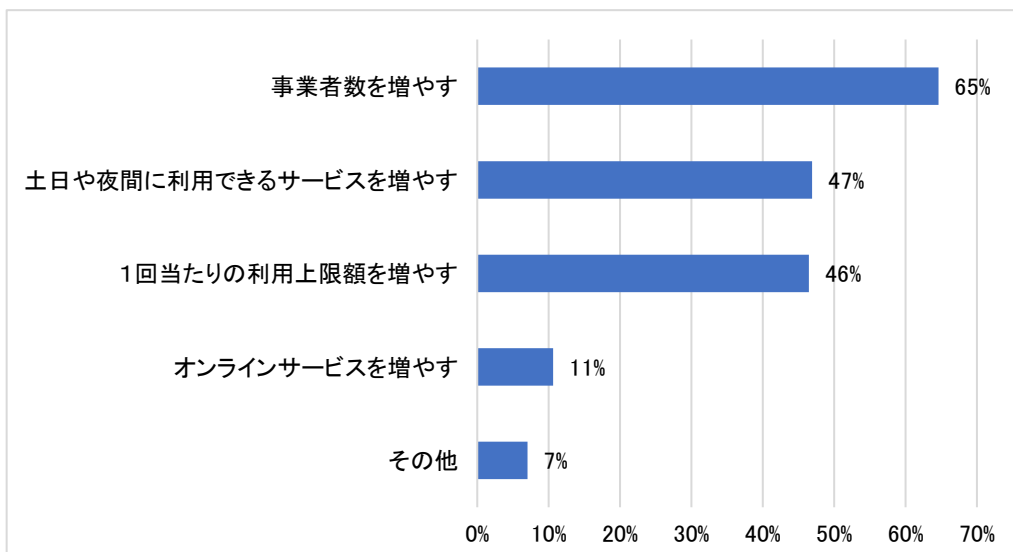
現在、応援券が使えるサービスで、今後さらに充実してほしいと思うものを聞いたところ、「施設での一時保育」(40%)が最も多く、次いで「家事援助」(38%)、「親も子ども楽しむ交流事業(リトミック等)」(33%)などの順番になっている。



(N=719、複数回答)

選択したサービスは、どのように充実してほしいか

現在、応援券が使えるサービスで、今後さらに充実してほしいサービスがどのように充実してほしいか聞いたところ、「事業者を増やす」(65%)が6割超で最も多く、次いで「土日や夜間に利用できるサービスを増やす」(47%)、「1回当たりの利用上限額を増やす」(46%)などの順番になっている。「その他」(7%)では「一時預かりの時間を延ばしてほしい」、「予約枠の増加」などがあげられている。



(N=667、複数回答)